

# 2022 年度 シラバス (講義計画)

学校法人 立志舎  
東京 I T 会計公務員専門学校大宮校  
【法律学科】

昼間部 法律専門課程 法律学科[2年制]

項数	科目区分	必修 選択	授業科目	授業 形態	第一学年		第二学年		授業時数 合計	単位数 合計
					授業時数	単位数	授業時数	単位数		
1	一般科目	選択 必修	社会科学概論Ⅱ	講義	40	2			40	2
2			人文科学演習Ⅰ	演習			40	2	40	2
3			自然科学演習Ⅰ	演習			40	2	40	2
4			現代国語A	演習			100	5	100	5
5			現代国語B	演習			80	4	80	4
6			自然科学概論ⅠA	講義	40	2			40	2
7			自然科学概論ⅡA	講義	60	3			60	3
8			社会科学概論ⅠA	講義	40	2			40	2
9			社会科学演習ⅠA	演習			40	2	40	2
10			人文科学概論ⅠA	講義	40	2			40	2
11			人文科学概論ⅡA	講義	40	2			40	2
12			自然科学概論ⅠB	講義	60	3			60	3
13			社会科学概論ⅠB	講義	80	4			80	4
14			人文科学概論ⅠB	講義	100	5			100	5
15			自然科学概論ⅡB	講義	80	4			80	4
16			社会科学演習ⅠB	演習			80	4	80	4
17			人文科学概論ⅡB	講義	80	4			80	4
18			時事研究Ⅰ	講義			40	2	40	2
19			論作文Ⅰ	演習			40	2	40	2
20			総合講座Ⅰ	演習	40	2			40	2
21			総合講座Ⅱ	演習			40	2	40	2
22			就職セミナーⅠ	演習	20	1			20	1
23			職業実務ⅠA	演習	20	1			20	1
24			職業実務ⅠB	演習	20	1			20	1
25			職業実務ⅠC	演習	20	1			20	1
26			職業実務ⅡA	演習			20	1	20	1
27			職業実務ⅡB	演習			20	1	20	1
28			職業実務ⅡC	演習			20	1	20	1
29			コンピュータ演習	演習			20	1	20	1
30			数的推理Ⅰ	演習	80	4			80	4
31			判断推理Ⅰ	演習	80	4			80	4
32			数的推理Ⅱ	演習	60	3			60	3
33			判断推理Ⅱ	演習	60	3			60	3
34			卒業研究	演習			160	8	160	8
35			数的推理演習A	演習			80	4	80	4
36			判断推理演習A	演習			80	4	80	4
37			キャリアデザイン	演習			40	2	40	2
38			資料分析ⅠA	演習	20	1			20	1
39			公法演習	演習			80	4	80	4
40			資料分析演習	演習			40	2	40	2
41			憲法概論Ⅰ	講義	80	4			80	4
42			経済学Ⅰ	講義	100	5			100	5
43			経済学Ⅱ	講義	60	3			60	3
44			民法概論Ⅰ	講義	100	5			100	5

45	専門科目 選択必修	民法概論Ⅱ	講義	80	4			80	4
46		行政法概論Ⅰ	講義	40	2			40	2
47		行政法概論ⅡA	講義	40	2			40	2
48		行政法概論ⅡB	講義	40	2			40	2
49		社会学Ⅰ	講義	20	1			20	1
50		政治学Ⅰ	講義	20	1			20	1
51		経営学Ⅰ	講義	20	1			20	1
52		行政学Ⅰ	講義	20	1			20	1
53		経済学演習ⅠA	演習	80	4			80	4
54		財政学Ⅰ	講義	20	1			20	1
55		経営学・財政学演習Ⅰ	演習			20	1	20	1
56		憲法演習ⅠA	演習	80	4			80	4
57		民法演習Ⅰ	演習			60	3	60	3
58		政治学・行政学演習Ⅰ	演習			20	1	20	1
59		経済学演習Ⅱ	演習			60	3	60	3
60		社会・教育・心理学	講義			20	1	20	1
61		資料分析ⅠB	演習	40	2			40	2
62		文章研究Ⅰ	演習	20	1			20	1
63		文章研究Ⅱ	演習	20	1			20	1
64		文章研究Ⅲ	演習			40	2	40	2
65		資料分析演習Ⅰ	演習	40	2			40	2
66		資料分析演習Ⅱ	演習			40	2	40	2
67		教育・心理学	講義			20	1	20	1
68		社会学	講義			20	1	20	1
69		適性演習Ⅱ	演習			40	2	40	2
70		適性演習Ⅰ	演習	20	1			20	1
71		ビジネス実務	講義	20	1			20	1
72		トレーニング演習Ⅰ	演習	20	1			20	1
73		トレーニング演習Ⅱ	演習	20	1			20	1
74		トレーニング演習Ⅲ	演習			20	1	20	1
75		数的推理演習B	演習			100	5	100	5
76		判断推理演習B	演習			100	5	100	5
				授業 時数	単位数	授業 時数	単位数	授業時数 合計	単位数 合計
	必修科目合計			0	0	0	0	0	0
	選択必修科目合計			2080	104	1620	81	3700	185
	卒業に必要な総授業時数			920	46	800	40	1720	86

※選択必修については、選択必修科目の中から77単位以上履修すること。

科目名：社会科学概論Ⅱ      開講年次：1年      授業時数：40      単位数：2  
種類：一般科目      分類：選択必修  
授業方法：講義  
担当教員：中島・高野

〔講義主要目標及び講義概要〕

法学および現代社会について、相互関連性に注目しながら、基本概念についての理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

現代社会

1. 現代の経済社会と経済活動（10）
2. 現代の民主政治（10）
3. 現代社会と私たち（10）
4. 国際社会の動向と日本（10）

〔テキスト〕

社会科学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：人文科学演習 I

開講年次：2年

授業時数：40

単位数：2

種類：一般科目

分類：選択必修

授業方法：演習

担当教員：黒沢・原澤

〔講義主要目標及び講義概要〕

日本史、国語、世界史、地理等の人文科学に関する総合的理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

日本史に関する問題（10）

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 古代          | 2. 平安・鎌倉・南北朝時代 |
| 3. 室町・安土桃山時代   | 4. 江戸時代①       |
| 5. 江戸時代①       | 6. 江戸時代③・明治時代① |
| 7. 明治時代②・大正時代① | 8. 大正時代②・昭和時代① |
| 9. 昭和時代②       |                |

国語に関する問題（10）

- |          |             |
|----------|-------------|
| 1. 四字熟語  | 2. 故事成語     |
| 3. 慣用句   | 4. ことわざ     |
| 5. 難読語   | 6. 同音異義語    |
| 7. 同訓異義語 | 8. 誤りやすいことば |

世界史に関する問題（10）

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 古代文明          | 2. 東アジア文化圏の形成    |
| 3. イスラム・明清・オスマン朝 | 4. ヨーロッパ世界の形成と変動 |
| 5. 近代ヨーロッパと絶対王政  | 6. 市民社会の成立と近代国家  |
| 7. 帝国主義とアジア地域の動揺 | 8. 世界大戦前後の世界     |

地理に関する問題（10）

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 現代世界の地理的考察  | 2. 地形と気候       |
| 3. 農業・漁業・林業    | 4. 鉱工業・貿易      |
| 5. 現代世界の地誌的考察① | 6. 現代世界の地誌的考察② |

〔テキスト〕

人文科学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：自然科学演習 I	開講年次：2年	授業時数：40	単位数：2
	種類：一般科目	分類：選択必修	
	授業方法：演習		
	担当教員：宮崎・原澤		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
数学・物理・化学・生物・地学分野の自然科学に関する総合的理解を深めるために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。			
〔講義・演習項目〕			
数学に関する問題（10）			
1. 数と式	2. 方程式		
3. 不等式	4. 関数		
5. 平面と座標	6. 角と三角形		
物理に関する問題（10）			
1. 力と運動の法則	2. 物体の運動		
3. エネルギー	4. 波動		
5. 電気・磁気			
化学に関する問題（5）			
1. 物質の構成	2. 物質を構成する粒子		
3. 物質の変化	4. イオン化傾向・非金属元素		
5. 金属元素	6. 有機化合物		
生物に関する問題（10）			
1. 動物の行動・生物の進化	2. 細胞と組織		
3. 酵素の働き・光合成	4. 生物体のつくり		
5. ホルモン・環境と植物	6. 遺伝		
地学に関する問題（5）			
1. 地球の姿・地表の変化	2. 地層・地殻・大気・海洋		
3. 宇宙の構成			
〔テキスト〕			
自然科学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名：時事研究 I

開講年次：2年 授業時数：40 単位数：2

種類：一般科目 分類：選択必修

授業方法：講義

担当教員：黒沢・原澤

〔講義主要目標及び講義概要〕

最新の国内・外の主要な時事問題について、時事用語の理解に重点をおきながら分析し、理解を深めることを目指す。

〔講義・演習項目〕

1. 政治・経済分野 (10)
2. 国際関係分野 (5)
3. 社会・生活分野 (5)
4. 産業・労働分野 (5)
5. 科学・技術分野 (5)
6. 自然・環境分野 (5)
7. 文化・スポーツ分野 (5)

〔テキスト〕

時事用語集、種々のプリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：論作文Ⅰ

開講年次：2年

授業時数：40

単位数：2

種類：一般科目

分類：選択必修

授業方法：演習

担当教員：宮崎・原澤

〔講義主要目標及び講義概要〕

社会人としての心構えや社会常識、論理的思考力・判断力・分析力および感受性・表現力の基本を、文章を書くことによって養うことを目指す。

〔講義・演習項目〕

1. 社会人像に関する基本的課題 (15)
2. 学校生活に関する基本的課題 (15)
3. 人生観・生き方に関する基本的課題 (10)

〔テキスト〕

論作文に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。



科目名：総合講座 I

開講年次：1年

授業時数：40

単位数：2

種類：一般科目

分類：選択必修

授業方法：演習

担当教員：宮崎・原澤

〔講義主要目標及び講義概要〕

様々な学校行事を通じて、社会人としてのスキル向上を目指す。リーダーシップ、フォロワーシップ、提案の方法、許容方法、協調性など様々な能力を学び向上させることを目的とする。また、親交を深め学園生活を活性化することを目的とする。

〔講義・演習項目〕

1. 球技大会（6）
2. 体育祭（6）
3. 野球大会（6）
4. 学園祭（16）
5. 就職出陣式（6）

〔テキスト〕

なし

〔成績評価〕

出席や各グループでの企画、意見交換などを総合的に判断する。

科目名：総合講座Ⅱ

開講年次：2年

授業時数：40

単位数：2

種類：一般科目

分類：選択必修

授業方法：演習

担当教員：宮崎・原澤

〔講義主要目標及び講義概要〕

様々な学校行事を通じて、社会人としてのスキル向上を目指す。リーダーシップ、フォロワーシップ、提案の方法、許容方法、協調性など様々な能力を学び向上させることを目的とする。また、親交を深め学園生活を活性化することを目的とする。

〔講義・演習項目〕

1. 球技大会（6）
2. 体育祭（6）
3. 野球大会（6）
4. 学園祭（16）
5. 就職出陣式（6）

〔テキスト〕

なし

〔成績評価〕

出席や各グループでの企画、意見交換などを総合的に判断する。

科目名：現代国語 A

開講年次：2年

授業時数：100

単位数：5

種類：一般科目

分類：選択必修

授業方法：演習

担当教員：黒沢・原澤

〔講義主要目標及び講義概要〕

すべての常用漢字を理解し、文章の中で適切に使える能力を身につけ、漢字能力検定合格を目指す。

〔講義・演習項目〕

1. 読み (10)
2. 部首 (10)
3. 熟語の構成 (15)
4. 四字熟語【書き】 (10)
5. 四字熟語【意味】 (5)
6. 対義語・類義語 (5)
7. 同音・同訓異字 (5)
8. 誤字訂正 (10)
9. 送りがな (10)
10. 書き取り (20)

〔テキスト〕

漢字能力検定に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：現代国語 B

開講年次：2年

授業時数：80

単位数：4

種類：一般科目

分類：選択必修

授業方法：演習

担当教員：黒沢・原澤

〔講義主要目標及び講義概要〕

すべての常用漢字を理解し、文章の中で適切に使える能力を身につけ、漢字能力検定合格を目指す。

〔講義・演習項目〕

1. 読み (5)
2. 部首 (10)
3. 熟語の構成 (10)
4. 四字熟語【書き】(10)
5. 四字熟語【意味】(5)
6. 対義語・類義語 (5)
7. 同音・同訓異字 (5)
8. 誤字訂正 (10)
9. 送りがな (10)
10. 書き取り (10)

〔テキスト〕

漢字能力検定に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：自然科学概論 I A      開講年次：1年      授業時数：40      単位数：2  
種類：一般科目      分類：選択必修  
授業方法：講義  
担当教員：高野・竹島

〔講義主要目標及び講義概要〕

数学の基本概念や原理・法則の理解および事象を数学的に考察し、処理する能力を高めることを目指す。

〔講義・演習項目〕

1. 数と式 (2)
2. 方程式 (3)
3. 不等式 (5)
4. 関数 (10)
5. 平面と座標 (10)
6. 角と三角形 (10)

〔テキスト〕

自然科学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：自然科学概論ⅡA         開講年次：1年         授業時数：60         単位数：3 種類：一般科目         分類：選択必修 授業方法：講義 担当教員：高野・竹島
〔講義主要目標及び講義概要〕 物理的な事物・現象に関する考え方や、化学的な事物・現象に関する考え方を養い、物理および化学の基本概念についての理解を目指す。そして、生物的な事物・現象に関する考え方や、地学的な事物・現象に関する考え方を養い、生物および地学の基本概念についての理解を目指す。
〔講義・演習項目〕 物理 1. 力と運動の法則（3） 2. 物体の運動（3） 3. エネルギー（3） 4. 波動（3） 5. 電気・磁気（3）  化学 1. 物質の構成（3） 2. 物質を構成する粒子（3） 3. 物質の変化（3） 4. イオン化傾向・非金属元素（3） 5. 金属元素（3） 6. 有機化合物（3）  生物 1. 動物の行動・生物の進化（3） 2. 細胞と組織（3） 3. 酵素の働き・光合成（3） 4. 生物体のつくり（3） 5. ホルモン・環境と植物（3） 6. 遺伝（3）  地学 1. 地球の姿・地表の変化（3） 2. 地層・地殻・大気・海洋（3） 3. 宇宙の構成（3）
〔テキスト〕 自然科学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。
〔成績評価〕 授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：社会科学概論 I A	開講年次：1年 種類：一般科目 授業方法：講義 担当教員：中島・島田	授業時数：40 分類：選択必修	単位数：2
[講義主要目標及び講義概要] 法学および政治・経済分野について、相互関連性に注目しながら、基本概念についての理解を目指す。			
[講義・演習項目] 政治 1. 民主政治の基本原則 (5) 2. 日本国憲法の基本的性格 (5) 3. 日本の統治機構 (5) 4. 日本の政治の現状と問題 (5) 5. 国際社会 (5)  経済 1. 経済体制・経済のしくみ① (3) 2. 経済のしくみ② (3) 3. 経済の発展と福祉の向上 (3)  憲法 1. 憲法前文～第103条 (3) 2. 法学概論 (3)			
[テキスト] 社会科学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。			
[成績評価] 授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名：社会科学演習 I A	開講年次：2年	授業時数：40	単位数：2
	種類：一般科目	分類：選択必修	
	授業方法：演習		
	担当教員：宮崎・黒沢		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
<p>法学および政治・経済分野について、相互関連性に注目しながら、基本概念についての理解を目指し、さらに総合的理解を深めるために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。</p>			
〔講義・演習項目〕			
<p>政治に関する問題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 民主政治の基本原則（5）</li> <li>2. 日本国憲法の基本的性格（5）</li> <li>3. 日本の統治機構（5）</li> <li>4. 日本の政治の現状と問題（5）</li> <li>5. 国際社会（5）</li> </ol> <p>経済に関する問題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経済体制・経済のしくみ①（3）</li> <li>2. 経済のしくみ②（3）</li> <li>3. 経済の発展と福祉の向上（3）</li> </ol> <p>憲法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 憲法前文～第103条（3）</li> <li>2. 法学概論（3）</li> </ol>			
〔テキスト〕			
<p>社会科学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。</p>			
〔成績評価〕			
<p>授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>			



科目名：人文科学概論 I A      開講年次：1年      授業時数：40      単位数：2  
種類：一般科目      分類：選択必修  
授業方法：講義  
担当教員：竹島・島田

〔講義主要目標及び講義概要〕

日本の歴史の展開を世界的視点に立って理解し、日本の文化・芸術および思想等の特色についての理解を目指す。また、ことばと漢字についての読み方、意味、書き方、使い方等を学習し、実力を養成する。

〔講義・演習項目〕

日本史

1. 古代 (2)
2. 平安・鎌倉・南北朝時代 (3)
3. 室町・安土桃山時代 (2)
4. 江戸時代① (3)
5. 江戸時代② (3)
6. 江戸時代③・明治時代① (3)
7. 明治時代②・大正時代① (3)
8. 大正時代②・昭和時代① (3)
9. 昭和時代② (3)

国語

1. 四字熟語 (2)
2. 故事成語 (2)
3. 慣用句 (2)
4. ことわざ (2)
5. 難読語 (2)
6. 同音異義語 (2)
7. 同訓異義語 (2)
8. 誤りやすいことば (1)

〔テキスト〕

日本史・漢字に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：人文科学概論ⅡA      開講年次：1年      授業時数：40      単位数：2  
種類：一般科目      分類：選択必修  
授業方法：講義  
担当教員：竹島・島田

〔講義主要目標及び講義概要〕

世界全体を総合的にとらえ、古代・中世・近代（近世）についての歴史の理解を目指す。日本および世界の人々の生活・文化に関する地域的特色とその動向を、自然環境および社会環境と関連させながら理解することを目指す。哲学思想、文学芸術においても、実際の作品等を参照しながら、公務員試験に出やすい箇所を重点的に学ぶ。

〔講義・演習項目〕

世界史

1. 古代文明（1）
2. 東アジア文化圏の形成（2）
3. イスラム・明清・オスマン朝（2）
4. ヨーロッパ世界の形成と変動（3）
5. 近代ヨーロッパと絶対王政（2）
6. 市民社会の成立と近代国家（3）
7. 帝国主義とアジア地域の動揺（2）
8. 世界大戦前後の世界（3）

地理

1. 現代世界の地理的考察（2）
2. 地形と気候（3）
3. 農業・漁業・林業（2）
4. 鉱工業・貿易（3）
5. 現代世界の地誌的考察①（2）
6. 現代世界の地誌的考察②（2）

哲学思想

1. 世界の思想（2）
2. 日本の思想（2）

文学芸術

1. 外国の文学・芸術（2）
2. 日本の文学・芸術（2）

〔テキスト〕

世界史・地理・哲学思想・文学芸術に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：自然科学概論 I B      開講年次：1年      授業時数：60      単位数：3  
種類：一般科目      分類：選択必修  
授業方法：講義  
担当教員：高野・竹島

〔講義主要目標及び講義概要〕

数学の基本概念や原理・法則の理解および事象を数学的に考察し、処理する能力を高めることを目指す。

〔講義・演習項目〕

1. 数と式 (2)
2. 方程式 (3)
3. 不等式 (10)
4. 関数 (15)
5. 平面と座標 (15)
6. 角と三角形 (15)

〔テキスト〕

自然科学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：社会科学概論 I B      開講年次：1年      授業時数：80      単位数：4  
種類：一般科目      分類：選択必修  
授業方法：講義  
担当教員：中島・高野

〔講義主要目標及び講義概要〕

法学および政治・経済分野について、相互関連性に注目しながら、基本概念についての理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

政治

1. 民主政治の基本原則（8）
2. 日本国憲法の基本的性格（8）
3. 日本の統治機構（8）
4. 日本の政治の現状と問題（8）
5. 国際社会（8）

経済

1. 経済体制・経済のしくみ①（8）
2. 経済のしくみ②（8）
3. 経済の発展と福祉の向上（8）

憲法

1. 憲法前文～第103条（8）
2. 法学概論（8）

〔テキスト〕

社会科学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：人文科学概論 I B      開講年次：1年      授業時数：100      単位数：5  
種類：一般科目      分類：選択必修  
授業方法：講義  
担当教員：竹島・高野

〔講義主要目標及び講義概要〕

日本の歴史の展開を世界的視点に立って理解し、日本の文化・芸術および思想等の特色についての理解を目指す。また、ことばと漢字についての読み方、意味、書き方、使い方等を学習し、実力を養成する。

〔講義・演習項目〕

日本史

1. 古代（5）
2. 平安・鎌倉・南北朝時代（6）
3. 室町・安土桃山時代（5）
4. 江戸時代①（8）
5. 江戸時代②（8）
6. 江戸時代③・明治時代①（8）
7. 明治時代②・大正時代①（8）
8. 大正時代②・昭和時代①（7）
9. 昭和時代②（6）

国語

1. 四字熟語（5）
2. 故事成語（5）
3. 慣用句（5）
4. ことわざ（5）
5. 難読語（5）
6. 同音異義語（5）
7. 同訓異義語（5）
8. 誤りやすいことば（4）

〔テキスト〕

日本史・漢字に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：自然科学概論ⅡB 開講年次：1年 種類：一般科目 授業方法：講義 担当教員：高野・竹島	授業時数：80 分類：選択必修	単位数：4
[講義主要目標及び講義概要] 物理的な事物・現象に関する考え方や、化学的な事物・現象に関する考え方を養い、物理および化学の基本概念についての理解を目指す。		
[講義・演習項目] 物理 1. 力と運動の法則 (4) 2. 物体の運動 (4) 3. エネルギー (4) 4. 波動 (4) 5. 電気・磁気 (4)  化学 1. 物質の構成 (4) 2. 物質を構成する粒子 (4) 3. 物質の変化 (4) 4. イオン化傾向・非金属元素 (4) 5. 金属元素 (4) 6. 有機化合物 (4)  生物 1. 動物の行動・生物の進化 (4) 2. 細胞と組織 (4) 3. 酵素の働き・光合成 (4) 4. 生物体のつくり (4) 5. ホルモン・環境と植物 (4) 6. 遺伝 (4)  地学 1. 地球の姿・地表の変化 (4) 2. 地層・地殻・大気・海洋 (4) 3. 宇宙の構成 (4)		
[テキスト] 自然科学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。		
[成績評価] 授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。		

科目名：社会科学演習 I B	開講年次：2年 種類：一般科目 授業方法：演習 担当教員：宮崎・黒沢	授業時数：80 分類：選択必修	単位数：4
<p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>法学および政治・経済分野について、相互関連性に注目しながら、基本概念についての理解を目指し、さらに総合的理解を深めるために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。</p>			
<p>〔講義・演習項目〕</p> <p>政治に関する問題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 民主政治の基本原則 (10)</li> <li>2. 日本国憲法の基本的性格 (10)</li> <li>3. 日本の統治機構 (10)</li> <li>4. 日本の政治の現状と問題 (10)</li> <li>5. 国際社会 (10)</li> </ol> <p>経済に関する問題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経済体制・経済のしくみ① (6)</li> <li>2. 経済のしくみ② (6)</li> <li>3. 経済の発展と福祉の向上 (6)</li> </ol> <p>憲法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 憲法前文～第103条 (6)</li> <li>2. 法学概論 (6)</li> </ol>			
<p>〔テキスト〕</p> <p>社会科学に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。</p>			
<p>〔成績評価〕</p> <p>授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>			

科目名：人文科学概論ⅡB	開講年次：1年	授業時数：80	単位数：4
	種類：一般科目	分類：選択必修	
	授業方法：講義		
	担当教員：竹島・島田		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
世界全体を総合的にとらえ、古代・中世・近代（近世）についての歴史の理解を目指す。日本および世界の人々の生活・文化に関する地域的特色とその動向を、自然環境および社会環境と関連させながら理解することを目指す。			
〔講義・演習項目〕			
世界史			
1. 古代文明（2）			
2. 東アジア文化圏の形成（4）			
3. イスラム・明清・オスマン朝（4）			
4. ヨーロッパ世界の形成と変動（6）			
5. 近代ヨーロッパと絶対王政（4）			
6. 市民社会の成立と近代国家（6）			
7. 帝国主義とアジア地域の動揺（4）			
8. 世界大戦前後の世界（6）			
地理			
1. 現代世界の地理的考察（4）			
2. 地形と気候（6）			
3. 農業・漁業・林業（4）			
4. 鉱工業・貿易（6）			
5. 現代世界の地誌的考察①（4）			
6. 現代世界の地誌的考察②（4）			
哲学思想			
1. 世界の思想（4）			
2. 日本の思想（4）			
文学芸術			
1. 外国の文学・芸術（4）			
2. 日本の文学・芸術（4）			
〔テキスト〕			
世界史・地理・哲学思想・文学芸術に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			



科目名：就職セミナー I 開講年次：1年 種類：専門科目 授業方法：演習 担当教員：高野・中島・竹島 (株)目標管理トレーニング	授業時数：20 単位数：1 分類：必修
[講義主要目標及び講義概要] 社員研修や人材育成コンサルティング事業を業務としている目標管理トレーニングの方を招き、卒業後の進路選択を考える前段階として、日々の学生生活を有意義なものとする意識の高揚を目指す。特に、社会人として必要とされる基本的なものの見方や考え方や行動の仕方について理解を深め、礼儀・マナーの修得、面接練習等を重視する。	
[講義・演習項目] 1. 職業についての考え方 (1) 2. 就職を取り巻く社会状況の分析 (2) 3. 就職活動の予備知識 (1) 4. 官公庁研究及び企業研究の方法 (2) 5. 自己分析の仕方 (2) 6. 礼儀・マナーの知識 (2) 7. 敬語表現 (1) 8. ビデオ等による事例研究 (1) 9. 面接練習 (2) 10. 目標設定する能力 (1) 11. 組織する能力【達成するまでのプロセス】 (1) 12. コミュニケーション力アップ (1) 13. 評価測定する能力 (1) 14. レポート作成・発表 (1) 15. 理解度確認テスト (1)	
[テキスト] 種々のプリント、ビデオ等を中心とする。	
[成績評価] 授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。	

科目名：職業実務 I A	開講年次：1年 授業時数：20 単位数：1 種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：演習 担当教員：キャリアフラッグ株式会社 石坂綜合法律事務所
<p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>企業研修や学生向けのビジネスマナー研修などを業務としているキャリアフラッグの方を招き社会人として必要な気働き・気遣い、コミュニケーション能力、ビジネスマナー、クレーム対応力を向上させる講座の実施。そして聞き方、話し方を中心に相手に対する対応の仕方を学習する。また障害者の方とコミュニケーションを取ることを想定し、どのような気配りが必要か、どのような気持ちで接せばいいかなど（石坂綜合法律事務所：社会福祉士）も学習する。</p>	
<p>〔講義・演習項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 気遣い・気働きとは（2）</li> <li>2. スムーズにコミュニケーションを図る方法（1）</li> <li>3. 相手に分かりやすく話す方法・敬語の使い方（1）</li> <li>4. 聞き方のポイント（1）</li> <li>5. レポート作成、発表（1）</li> <li>6. 理解度確認テスト（1）</li> <li>7. クレームとは（1）</li> <li>8. クレーム対応方法（2）</li> <li>9. ビジネスマナーの重要性（1）</li> <li>10. レポート作成、発表（1）</li> <li>11. 理解度確認テスト（1）</li> <li>12. 障害者の接し方（2）</li> <li>13. 障害者差別の解消法（1）</li> <li>14. 障害者に対する合理的配慮（2）</li> <li>15. レポート作成、発表（1）</li> <li>16. 理解度確認テスト（1）</li> </ol>	
<p>〔テキスト〕</p> <p>企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。</p>	
<p>〔成績評価〕</p> <p>企業等による講義終了後に提出するレポートや、授業期間中に実施する種々のテスト 学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>	

科目名：職業実務 I B	開講年次：1年 種類：専門科目 授業方法：演習 担当教員：埼玉労働局 新卒応援ハローワーク キャリアフラッグ㈱	授業時数：20 単位数：1 分類：選択必修
<p>[講義主要目標及び講義概要]</p> <p>転職者や新卒者の就職活動の企業紹介や指導を業務とする埼玉労働局新卒応援ハローワークの方を招き、来年の就職活動に必要な知識を理解し、就職準備に役立つ知識を習得できる講座の実施（エントリー方法・エントリーシートの書き方など）。学生のキャリア支援講座を主な業務とするキャリアフラッグの方を招き、面接対策として相手に上手く伝える話し方や自己PRに繋がられるように自己分析についての講座の実施をする。</p>		
<p>[講義・演習項目]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス（1）</li> <li>2. 就職するにあたり必要な準備（2）</li> <li>3. 自己理解とセールスポイントの見つけ方（4）</li> <li>4. エントリーシートの書き方（2）</li> <li>5. 人物試験の種類（1）</li> <li>6. 個人面接試験に必要なこと（2）</li> <li>7. 自己分析（6）</li> <li>8. レポート作成・発表（1）</li> <li>9. 理解度確認テスト（1）</li> </ol>		
<p>[テキスト]</p> <p>企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。</p>		
<p>[成績評価]</p> <p>企業等による講義・演習終了後に提出するレポートや、授業期間中に実施する種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>		

<p>科目名：職業実務 I C</p>	<p>開講年次：1年 授業時数：20 単位数：1  種類：専門科目 分類：選択必修  授業方法：演習  担当教員：埼玉県警大宮警察署  彩の国さいたま人づくり広域連合  自衛隊埼玉地方協力本部大宮地域事務所</p>
<p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>各職種の官公庁における現状・課題・問題点などを認識し、将来の就職・生活に生かすことができる知識を習得することを目的とする。埼玉県警大宮警察署広報官の方を招き警察組織の説明、現状・課題・問題点講座の実施。学校などに出前講座の仲介することを業務とする彩の国さいたま人づくり広域連合の方にお声掛けし、市役所の方や消防本部の方を招き、消防組織・市役所組織の説明、現状・課題・問題点の講座の実施。国防や災難救助を主な業務とする自衛隊埼玉地方協力本部の方を招き防衛省自衛隊組織の説明、現状・課題・問題点の講座の実施をする。</p>	
<p>〔講義・演習項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 埼玉県警察行政の仕事とは（1）</li> <li>2. 埼玉県警察行政の現状（1）</li> <li>3. 埼玉県警察行政の課題と問題点（1）</li> <li>4. レポート作成・発表（1）</li> <li>5. 理解度確認テスト（1）</li> <li>6. 市役所の仕事とは（1）</li> <li>7. 市役所の現状（1）</li> <li>8. 市役所の課題と問題点（1）</li> <li>9. レポート作成・発表（1）</li> <li>10. 消防の仕事とは（1）</li> <li>11. 消防の現状（1）</li> <li>12. 消防の課題・問題点（1）</li> <li>13. レポート作成・発表（1）</li> <li>14. 理解度確認テスト（1）</li> <li>15. 自衛隊の仕事とは（1）</li> <li>16. 自衛隊の現状（1）</li> <li>17. 自衛隊の課題・問題点（1）</li> <li>18. 災害時の一般的な予備知識（1）</li> <li>19. レポート作成・発表（1）</li> <li>20. 理解度確認テスト（1）</li> </ol>	
<p>〔テキスト〕</p> <p>企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。</p>	
<p>〔成績評価〕</p> <p>企業等による講義終了後に提出するレポートや、授業期間中に実施する種々のテスト学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>	

<p>科目名：職業実務ⅡA</p>	<p>開講年次：2年 授業時数：20 単位数：1  種類：専門科目 分類：選択必修  授業方法：演習  担当教員：(株)ビジネスブレイン太田昭和  (株)目標管理トレーニング  厚生労働省 埼玉労働局</p>
<p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>社会人になる前に知っておきたい知識を事前に理解することにより、社会人になったとき、不安解消ができるようにいろいろな知識を習得させることを目的とする。企業研修や学生向けコンプライアンス講座などを業務とするビジネスブレイン太田昭和の方を招きコンプライアンス講座の実施。県政出前講座で小学生～大学生向けの講座を業務とする埼玉労働局の方を招き労働法講座の実施。社員研修や人材育成コンサルティング事業を業務としている目標管理トレーニングの方を招き、目標設定と目標達成に関する講座の実施をする。</p>	
<p>〔講義・演習項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コンプライアンスの意義の事例・変遷（2）</li> <li>2. コンプライアンス違反により受ける影響（1）</li> <li>3. コンプライアンス遵守に必要なこと（1）</li> <li>4. レポート作成・発表（1）</li> <li>5. 理解度確認テスト（1）</li> <li>6. 目標達成のために、知っておいて欲しいこと（2）</li> <li>7. 「将来、あなたはどなりたい？」（1）</li> <li>8. 目標達成を手繰り寄せるための最初のステップ（2）</li> <li>9. レポート作成・発表（1）</li> <li>10. 理解度確認テスト（1）</li> <li>11. 労働法とは（1）</li> <li>12. 働くときのルール（2）</li> <li>13. 仕事を辞める、辞めさせられるとき（2）</li> <li>14. レポート作成・発表（1）</li> <li>15. 理解度確認テスト（1）</li> </ol>	
<p>〔テキスト〕</p> <p>企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。</p>	
<p>〔成績評価〕</p> <p>企業等による講義・演習終了後に提出するレポートや、授業期間中に実施する種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>	

科目名：職業実務ⅡB	開講年次：1年 授業時数：20 単位数：1 種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：演習 担当教員：一般社団法人 日本損害保険協会 一般社団法人 全国銀行協会 日本年金機構 大宮年金事務所
<p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>社会人になるにあたって、身近になる損害保険の仕組みを実際の交通事故や自然災害など実例を挙げて説明。日本損害保険協会の方を招き基礎的な知識から学ぶ。成人年齢引き下げに伴い、20歳以下の人でも責任が伴ってくる。多くの金融に関する被害が多発することが予想されるので、全国銀行協会の方を招き、これらのことを基礎から学ぶ。年金や社会保障、租税に関する手続きを業務とする日本年金機構大宮年金事務所の方を招き、公的年金制度・労働及び社会保険に関する基本的知識にプラスし租税との関係について講座の実施。</p>	
<p>〔講義・演習項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 損害保険の基礎（1）</li> <li>2. 暮らしの中の危険と損害保険（1）</li> <li>3. 交通事故とその責任（2）</li> <li>4. 自然災害と損害保険（1）</li> <li>5. レポート作成・発表（1）</li> <li>6. 理解度確認テスト（1）</li> <li>7. 金融犯罪の手口と対策（1）</li> <li>8. 多重債務に関する基礎知識（1）</li> <li>9. 社会に出て気を付けるお金のこと（2）</li> <li>10. レポート作成・発表（1）</li> <li>11. 理解度確認テスト（1）</li> <li>12. 公的年金と個人年金保険の違い（1）</li> <li>13. 社会保険制度【個々の保険について】（2）</li> <li>14. 年金・保険と租税との関係（2）</li> <li>15. 理解度レポート作成・発表（1）</li> <li>16. 確認テスト（1）</li> </ol>	
<p>〔テキスト〕</p> <p>企業等が準備するテキストおよび種々のプリントを中心とする。</p>	
<p>〔成績評価〕</p> <p>企業等による講義終了後に提出するレポートや、授業期間中に実施する種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>	

科目名：職業実務ⅡC	開講年次：2年 種類：専門科目 授業方法：演習 担当教員：(財)日本漢字能力検定協会 (財)行政管理研究センター キャリアフラッグ(株)	授業時数：20 分類：選択必修	単位数：1
<p>[講義主要目標及び講義概要]</p> <p>漢字検定や文章作成能力検定を実施する日本漢字能力検定協会の方を招き、社会人になってから必要になるであろう文章作成能力を向上させることに繋がる講座の実施。社員研修やコンサルティング業務の受託などを主な業務としている行政管理研究センターの方を招き、個人情報や情報公開制度などを踏まえて文章データ管理について学習する。キャリア支援講座を主な業務とするキャリアフラッグの方を招き、社会人になると様々な心のストレスを感じながら仕事をするようになるので、アンガーマネジメントの知識をつけ、メンタルコントロールがしっかりできるようにしていく。</p>			
<p>[講義・演習項目]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会に出て必要な書類とはどういうものか (1)</li> <li>2. 業務で必要になる文章とは (1)</li> <li>3. 論理的に文章を書くコツ (2)</li> <li>4. レポート作成・発表 (1)</li> <li>5. 理解度確認テスト (1)</li> <li>6. 情報公開制度とは (1)</li> <li>7. 個人情報制度とは (1)</li> <li>8. 個人情報の扱いについて実践的な話 (2)</li> <li>9. レポート作成・発表 (1)</li> <li>10. 理解度確認テスト (1)</li> <li>11. アンガーマネジメントとは (1)</li> <li>12. 怒りの抑制法 (2)</li> <li>13. 自身の怒りの要因の分析方法 (3)</li> <li>14. レポート作成・発表 (1)</li> <li>15. 理解度確認テスト (1)</li> </ol>			
<p>[テキスト]</p> <p>企業などが準備するテキスト及び、種々の問題プリントを中心とする。</p>			
<p>[成績評価]</p> <p>授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>			

科目名：コンピュータ演習         開講年次：2年         授業時数：20         単位数：1 種類：専門科目         分類：選択必修 授業方法：演習 担当教員：黒沢・中島
[講義主要目標及び講義概要] コンピュータの起動、文字入力、表計算、ファイルの操作、印刷、データの保存等の基本操作の習得を目指す。また、コンピュータおよび関連知識についての理解を目指す。
[講義・演習項目] 1. コンピュータの仕組みと操作 (4) 2. データの入力 (3) 3. 表計算等のデータの処理 (7) 4. ファイルの操作 (2) 5. データの印刷 (2) 6. データの保存 (2)
[テキスト] 情報処理に関する標準的テキスト、種々のプリントを中心とする。
[成績評価] 授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。



科目名：数的推理 I

開講年次：1年

授業時数：80

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

担当教員：高野・竹島

〔講義主要目標及び講義概要〕

数による推理力・判断力や処理能力及び数学的な計算力を中心とした数的推理の領域の基礎力を養うことを目指し、種々の演習問題を多角的に検討する。

〔講義・演習項目〕

1. 方程式・不等式①～⑪ (22)
2. 数①～② (4)
3. 測量 (4)
4. 魔方陣 (4)
5. 比・割合 (4)
6. 覆面算・虫喰算 (4)
7. 損益算 (4)
8. 時間・距離・速さ①～⑫ (28)
9. 仕事算 (2)
10. 数列 (2)
11. 暦 (2)

※○の番号は、本学教材セリエの項目番号

〔テキスト〕

数的推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：判断推理 I	開講年次：1年 授業時数：80 単位数：4 種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：演習 担当教員：中島・島田
<p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>文章・記号等による推理力・判断力を中心とした判断推理の領域の基礎力を養うことを目指し、種々の演習問題を多角的に検討する。</p>	
<p>〔講義・演習項目〕</p> <p>判断推理</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 集合（8）</li> <li>2. 論理命題（8）</li> <li>3. 暗号（8）</li> <li>4. 対応関係（8）</li> <li>5. 試合と勝敗（8）</li> <li>6. 証言推理（8）</li> <li>7. 順序関係（8）</li> <li>8. 方位・位置（8）</li> <li>9. 数量推理（8）</li> <li>10. 手順（8）</li> </ol>	
<p>〔テキスト〕</p> <p>判断推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。</p>	
<p>〔成績評価〕</p> <p>授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>	

科目名：数的推理Ⅱ

開講年次：1年

授業時数：60

単位数：3

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

担当教員：高野・竹島

〔講義主要目標及び講義概要〕

数による推理力・判断力や処理能力及び数学的な計算力を中心とした数的推理の領域の基礎力を養うことを目指し、種々の演習問題を多角的に検討する。

〔講義・演習項目〕

1. 場合の数 (5)
2. 確率 (5)
3. 図形の基礎 (10)
4. 三角形 (10)
5. 四角形・多角形 (10)
6. 円 (10)
7. 空間図形 (10)

〔テキスト〕

数的推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：判断推理Ⅱ	開講年次：1年	授業時数：60	単位数：3
	種類：専門科目	分類：選択必修	
	授業方法：演習		
	担当教員：中島・島田		
<p>[講義主要目標及び講義概要]</p> <p>文章・記号・図形等による推理力・判断力を中心とした判断推理の領域及び平面図形、展開図等による視覚能力・想像力を中心とした空間把握の領域の基本を養うことを目指し、種々の演習問題を多角的に検討する。</p>			
<p>[講義・演習項目]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平面図形（8）</li> <li>2. 軌跡（8）</li> <li>3. 投影図（8）</li> <li>4. 展開図（8）</li> <li>5. 折り紙（7）</li> <li>6. サイコロ（7）</li> <li>7. 立体図形（7）</li> <li>8. 位相・道順（7）</li> </ol>			
<p>[テキスト]</p> <p>判断推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。</p>			
<p>[成績評価]</p> <p>授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>			

科目名：卒業研究	開講年次：2年 種類：専門科目 授業方法：演習 担当教員：宮崎・黒沢・原澤	授業時数：160 分類：選択必修	単位数：8
<p>[講義主要目標及び講義概要]</p> <p>専門学校での学習の集大成として、就職先の業界研究や官庁研究など各学生がテーマを考え論文を作成する。</p>			
<p>[講義・演習項目]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 卒業研究概要 (10)</li> <li>2. テーマの研究 (60)</li> <li>3. 情報収集 (60)</li> <li>4. 下書き作成 (20)</li> <li>5. 清書作成・製本 (10)</li> </ol>			
<p>[テキスト]</p> <p>各学生が収集した卒業研究に関する資料を中心とする。</p>			
<p>[成績評価]</p> <p>授業期間中に実施される種々のテスト、提出物、授業態度等を総合して判断する。</p>			

科目名：キャリアデザイン      開講年次：2年      授業時数：40      単位数：2  
種類：専門科目      分類：選択必修  
授業方法：演習  
担当教員：宮崎・黒沢

〔講義主要目標及び講義概要〕

社会でどのように働き、どのように自立して生きていくかを考え、キャリアデザインの重要性を理解したうえで、社会で求められる人材であることをきちんと表現することのできる力を養成することを目標とする。

〔講義・演習項目〕

1. 自己分析（5）
2. 志望動機作成（5）
3. 自己PR作成（5）
4. エントリーシート・履歴書作成（5）
5. 各企業の人事担当者からの講演（6）
6. 模擬面接（14）

〔テキスト〕

履歴書の作成や面接対策に関する資料及び官公庁・企業のホームページ並びに資料。

〔成績評価〕

事前準備の取り組み状況、作成したエントリーシートや履歴書の内容等並びに模擬面接での受け答えを総合評価する。

科目名：資料分析 I A	開講年次：1 年    授業時数：20    単位数：1 種類：専門科目    分類：選択必修 授業方法：演習 担当教員：高野・島田
<p>[講義主要目標及び講義概要]</p> <p>統計資料により判断力・計算力等の資料解釈の領域の基礎力を養うことを目指し、種々の演習問題を多角的に検討する。</p>	
<p>[講義・演習項目]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実数 (5)</li> <li>2. 指数 (5)</li> <li>3. 構成比 (5)</li> <li>4. 増減率・その他 (5)</li> </ol>	
<p>[テキスト]</p> <p>資料解釈に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。</p>	
<p>[成績評価]</p> <p>授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>	

科目名：数的推理演習 A	開講年次：2年	授業時数：80	単位数：4
	種類：専門科目	分類：選択必修	
	授業方法：演習		
	担当教員：宮崎・原澤		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
<p>数による推理力・判断力や処理能力及び数学的な計算力を中心とした数的推理の領域の基礎力をより一層深いものにするために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。</p>			
〔講義・演習項目〕			
<p>数的推理に関する問題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 方程式・不等式（5）</li> <li>2. 数（5）</li> <li>3. 数列（5）</li> <li>4. 魔方陣（4）</li> <li>5. 覆面算・虫喰算（4）</li> <li>6. 比・割合（5）</li> <li>7. 損益算（5）</li> <li>8. 時間・距離・速さ（5）</li> <li>9. 仕事算（4）</li> <li>10. 場合の数（4）</li> <li>11. 確率（5）</li> <li>12. 測量（4）</li> <li>13. 暦（4）</li> <li>14. 図形の基礎（4）</li> <li>15. 三角形（4）</li> <li>16. 四角形・多角形（4）</li> <li>17. 円（5）</li> <li>18. 空間図形（4）</li> </ol>			
〔テキスト〕			
<p>数的推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。</p>			
〔成績評価〕			
<p>授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>			



科目名：判断推理演習 A

開講年次：2年

授業時数：80

単位数：4

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

担当教員：宮崎・黒沢

〔講義主要目標及び講義概要〕

文章・記号・図形等による推理力・判断力を中心とした判断推理の領域及び平面・立体図形・軌跡等による視覚能力・想像力を中心とした空間把握の領域の基本を養うことを目指し、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

判断推理に関する問題

1. 集合 (5)
2. 論理命題 (5)
3. 暗号 (5)
4. 対応関係 (5)
5. 試合と勝敗 (5)
6. 証言推理 (5)
7. 順序関係 (5)
8. 方位・位置 (5)
9. 数量推理 (5)
10. 手順 (5)

空間把握に関する問題

1. 平面図形 (3)
2. 軌跡 (4)
3. 投影図 (4)
4. 展開図 (4)
5. 折り紙 (4)
6. サイコロ (3)
7. 立体図形 (4)
8. 位相・道順 (4)

〔テキスト〕

判断推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：公法演習	開講年次：2年	授業時数：80	単位数：4
	種類：専門科目	分類：選択必修	
	授業方法：演習		
	担当教員：神田・竹島		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
<p>統治機構についての理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討する。公務員試験の出題傾向を考慮する。</p> <p>行政の意義、基本原理、行政の組織、行政行為、行政上の義務履行確保の手段、国家補償、不服申立て及び行政事件訴訟等についての理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討する。公務員試験の出題傾向を考慮する。</p>			
〔講義・演習項目〕			
<p>憲法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国会の最高機関性、二院制、国会・議院の権能（4）</li> <li>2. 衆議院の解散（5）</li> <li>3. 内閣の組織と権能（5）</li> <li>4. 議院内閣制（5）</li> <li>5. 財政（5）</li> <li>6. 地方自治（5）</li> <li>7. 司法権（5）</li> <li>8. 違憲審査制（5）</li> <li>9. 憲法改正 等（5）</li> </ol> <p>行政法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 行政の意義、法源に関する問題（4）</li> <li>2. 公法と私法、法律による行政の原理による問題（4）</li> <li>3. 行政の組織に関する問題（4）</li> <li>4. 行政行為に関する問題（4）</li> <li>5. 行政上の義務履行確保の手段に関する問題（4）</li> <li>6. 国家賠償法1条・2条に関する問題（4）</li> <li>7. 行政上の損失補償に関する問題（4）</li> <li>8. 不服申立て制度に関する問題（4）</li> <li>9. 行政事件訴訟に関する問題 等（4）</li> </ol>			
〔テキスト〕			
<p>憲法の基本的テキストと判例集、行政法の基本的テキストと判例集など種々の問題集および問題プリント等を中心とする。</p>			
〔成績評価〕			
<p>授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>			

科目名：資料分析演習	開講年次：2年 種類：専門科目 授業方法：演習 担当教員：黒沢・原澤	授業時数：40 分類：選択必修	単位数：2
<p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>統計資料により判断力・計算力等の資料解釈の領域の応用力を身につけ、より頻出度の高い分野について種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。</p>			
<p>〔講義・演習項目〕</p> <p>資料解釈に関する問題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実数 (10)</li> <li>2. 指数 (10)</li> <li>2. 構成比 (10)</li> <li>3. 増減率・その他 (10)</li> </ol>			
<p>〔テキスト〕</p> <p>資料解釈に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。</p>			
<p>〔成績評価〕</p> <p>授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>			

科目名：憲法概論 I	開講年次：1年 種類：専門科目 授業方法：講義 担当教員：神田・竹島	授業時数：80 単位数：4 分類：選択必修																										
<p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>日本国憲法の前文から第10章までの基本的理解を目指す。それぞれの条文に関連する基本的な争点の考察を通して憲法規範の具体的な意味を理解する。</p>																												
<p>〔講義・演習項目〕</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 前文 (3)</td> <td>2. 天皇 (3)</td> </tr> <tr> <td>3. 戦争の放棄 (3)</td> <td>4. 人権の観念 (3)</td> </tr> <tr> <td>5. 人権と主体 (3)</td> <td>6. 人権と公共の福祉 (3)</td> </tr> <tr> <td>7. 私人間における人権 (3)</td> <td>8. 新しい人権 (4)</td> </tr> <tr> <td>9. 法の下での平等 (3)</td> <td>10. 精神的自由権 (3)</td> </tr> <tr> <td>11. 職業選択・居住移転の自由 (3)</td> <td>12. 財産権の保障 (3)</td> </tr> <tr> <td>13. 人身の自由と適正手続 (3)</td> <td>14. 国務請求権と参政権 (3)</td> </tr> <tr> <td>15. 生存権・労働基本権 (3)</td> <td>16. 教育を受ける権利 (3)</td> </tr> <tr> <td>17. 国会の最高機関性、二院制、国会・議院の権能 (4)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>18. 衆議院の解散 (4)</td> <td>19. 内閣の組織と権能 (4)</td> </tr> <tr> <td>20. 議院内閣制 (4)</td> <td>21. 財政 (3)</td> </tr> <tr> <td>22. 地方自治 (3)</td> <td>23. 司法権 (3)</td> </tr> <tr> <td>24. 違憲審査制 (3)</td> <td>25. 憲法改正 等 (3)</td> </tr> </table>			1. 前文 (3)	2. 天皇 (3)	3. 戦争の放棄 (3)	4. 人権の観念 (3)	5. 人権と主体 (3)	6. 人権と公共の福祉 (3)	7. 私人間における人権 (3)	8. 新しい人権 (4)	9. 法の下での平等 (3)	10. 精神的自由権 (3)	11. 職業選択・居住移転の自由 (3)	12. 財産権の保障 (3)	13. 人身の自由と適正手続 (3)	14. 国務請求権と参政権 (3)	15. 生存権・労働基本権 (3)	16. 教育を受ける権利 (3)	17. 国会の最高機関性、二院制、国会・議院の権能 (4)		18. 衆議院の解散 (4)	19. 内閣の組織と権能 (4)	20. 議院内閣制 (4)	21. 財政 (3)	22. 地方自治 (3)	23. 司法権 (3)	24. 違憲審査制 (3)	25. 憲法改正 等 (3)
1. 前文 (3)	2. 天皇 (3)																											
3. 戦争の放棄 (3)	4. 人権の観念 (3)																											
5. 人権と主体 (3)	6. 人権と公共の福祉 (3)																											
7. 私人間における人権 (3)	8. 新しい人権 (4)																											
9. 法の下での平等 (3)	10. 精神的自由権 (3)																											
11. 職業選択・居住移転の自由 (3)	12. 財産権の保障 (3)																											
13. 人身の自由と適正手続 (3)	14. 国務請求権と参政権 (3)																											
15. 生存権・労働基本権 (3)	16. 教育を受ける権利 (3)																											
17. 国会の最高機関性、二院制、国会・議院の権能 (4)																												
18. 衆議院の解散 (4)	19. 内閣の組織と権能 (4)																											
20. 議院内閣制 (4)	21. 財政 (3)																											
22. 地方自治 (3)	23. 司法権 (3)																											
24. 違憲審査制 (3)	25. 憲法改正 等 (3)																											
<p>〔テキスト〕</p> <p>憲法の基本的テキストと判例集等を中心とする。</p>																												
<p>〔成績評価〕</p> <p>授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>																												

科目名：経済学 I	開講年次：1年 授業時数：100 単位数：5 種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：講義 担当教員：宮崎・竹島
<p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>国民経済計算、国民所得の決定、消費の理論、IS－LM分析、財政政策と金融政策、インフレーションと失業等、マクロ経済学の基本構造についての理解を目指す。</p>	
<p>〔講義・演習項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国民経済計算 (13)</li> <li>2. セイの法則と有効需要の原理 (13)</li> <li>3. 国民所得決定の理論 (13)</li> <li>4. 消費の理論 (13)</li> <li>5. IS曲線・LM曲線の導出 (12)</li> <li>6. IS－LM分析 (12)</li> <li>7. 財政政策と金融政策 (12)</li> <li>8. インフレーションと失業 等 (12)</li> </ol>	
<p>〔テキスト〕</p> <p>マクロ経済学の基本的テキストを中心とする。</p>	
<p>〔成績評価〕</p> <p>授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>	

科目名：経済学Ⅱ	開講年次：1年	授業時数：60	単位数：3
	種類：専門科目	分類：選択必修	
	授業方法：講義		
	担当教員：宮崎・竹島		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
完全競争市場における消費者の行動および企業者の行動、部分均衡分析と一般均衡分析、不完全競争市場における企業の行動、市場の失敗、国際貿易等、ミクロ経済学の基本構造の理解を目指す。			
〔講義・演習項目〕			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 効用関数・無差別曲線（5）</li> <li>2. 最適消費量の決定（5）</li> <li>3. 所得効果・代替効果（5）</li> <li>4. 需要曲線の導出（5）</li> <li>5. 生産関数・等量曲線（5）</li> <li>6. 費用最小化・利潤最大化（5）</li> <li>7. 供給曲線の導出（5）</li> <li>8. 余剰分析（5）</li> <li>9. パレート最適（5）</li> <li>10. 不完全競争（5）</li> <li>11. 市場の失敗（5）</li> <li>12. 国際貿易 等（5）</li> </ol>			
〔テキスト〕			
ミクロ経済学の基本的テキストを中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名：民法概論 I	開講年次：1年	授業時数：100	単位数：5
	種類：専門科目	分類：選択必修	
	授業方法：講義		
	担当教員：神田・竹島		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
<p>総則及び物権法に関する、民法第1編、第2編の各条文の意義・要件・効果を分析・整理するとともに、各条文の解釈において生起する重要問題について、判例および通説的な見解の考察をすすめ、よって総則・物権法の基本的知識および体系的思考の修得を目指す。</p>			
〔講義・演習項目〕			
<p>&lt;総則&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 権利能力の主体・意思決定（5）</li> <li>2. 代理・無効と取消（5）</li> <li>3. 条件と期限・期間（10）</li> <li>4. 時効等（10）</li> </ol> <p>&lt;物権&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 物権の変動（10）</li> <li>2. 占有権（10）</li> <li>3. 所有権（10）</li> <li>4. 用益物権（10）</li> <li>5. 抵当権以外の担保物権（10）</li> <li>6. 抵当権（10）</li> <li>7. 非典型担保物権 等（10）</li> </ol>			
〔テキスト〕			
民法の基本的テキストおよび判例集等を中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名：民法概論Ⅱ	開講年次：1年 授業時数：80 単位数：4 種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：講義 担当教員：神田・竹島
<p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>債権法及び物権法に関する、民法第3編、第4編、第5編の各条文の意義・要件・効果を分析・整理するとともに、各条文の解釈において生起する重要問題について、判例および通説的な見解の考察をすすめる、よって債権法・家族法の基本的知識および体系的思考の修得を目指す。</p>	
<p>〔講義・演習項目〕</p> <p>&lt;債権法&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 債権の目的と効力（5）</li> <li>2. 債権の保全（5）</li> <li>3. 多数当事者の関係（5）</li> <li>4. 債権の譲渡消滅（5）</li> <li>5. 契約総則（5）</li> <li>6. 売買型の契約（5）</li> <li>7. 賃貸借型の契約（5）</li> <li>8. 役務型の契約（5）</li> <li>9. その他の契約（5）</li> <li>10. 事務管理と不当利得（5）</li> <li>11. 一般不法行為（5）</li> <li>12. 特殊な不法行為 等（5）</li> </ol> <p>&lt;家族法&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 親族総則・婚姻（5）</li> <li>2. 親子・親権・扶養（5）</li> <li>3. 相続法総説・法定相続（5）</li> <li>4. 遺言・遺留分 等（5）</li> </ol>	
<p>〔テキスト〕</p> <p>民法の基本的テキストおよび判例集等を中心とする。</p>	
<p>〔成績評価〕</p> <p>授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>	



科目名：行政法概論 I	開講年次：1年	授業時数：40	単位数：2
	種類：専門科目	分類：選択必修	
	授業方法：講義		
	担当教員：宮崎・竹島		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
行政法総論および作用法についての基本的事項の理解を目指す。行政行為、行政行為以外の行政の行為形式、行政上の義務履行確保の手段等を中心に講義を展開する。			
〔講義・演習項目〕			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 行政法の一般原則（2）</li> <li>2. 行政行為とその種類（3）</li> <li>3. 行政行為の効力と行政裁量（5）</li> <li>4. 行政行為の瑕疵と取消・撤回（5）</li> <li>5. 行政行為と行政手続法（5）</li> <li>6. 行政立法と行政契約（5）</li> <li>7. 行政指導と行政計画（5）</li> <li>8. 行政上の強制執行（5）</li> <li>9. 行政罰と即時強制・行政調査 等（5）</li> </ol>			
〔テキスト〕			
行政法の基本的テキストおよび判例集等を中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

<p>科目名：行政法概論ⅡA</p>	<p>開講年次：1年 授業時数：40 単位数：2  種類：専門科目 分類：選択必修  授業方法：講義  担当教員：さいたま行政書士合同事務所  宮崎・竹島</p>
<p>〔講義主要目標及び講義概要〕  さいたま行政書士合同事務所の特定行政書士の方を招き、行政救済論(損失補償・国家賠償法・不服申立審査法)について、基本的事項の理解と公務員試験に対応できる応用事項の理解を目指す。実際に行われている実務的な内容を踏まえ、国家補償、不服申立てを中心に講義を展開する。</p>	
<p>〔講義・演習項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国家補償と国家賠償（6）</li> <li>2. 行政上の損失補償（6）</li> <li>3. 不服申立て制度とその方法等（8）</li> </ol>	
<p>〔テキスト〕  行政法の基本的テキストおよび判例集等を中心とする。</p>	
<p>〔成績評価〕  授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>	

科目名：行政法概論ⅡB

開講年次：1年 授業時数：40 単位数：2

種類：専門科目 分類：選択必修

授業方法：講義

担当教員：宮崎・竹島

〔講義主要目標及び講義概要〕

行政救済論(行政事件訴訟法)および組織法についての基本的事項及び公務員試験で問題になる応用事項までの理解を目指す。行政の組織及び行政事件訴訟等を中心に講義を展開する。

〔講義・演習項目〕

1. 行政事件訴訟 (7)
2. 取消訴訟と訴えの利益・審理手続(7)
3. 行政主体と行政機関、行政機関相互の関係 (2)
4. 国、地方公共団体の行政組織 (2)
5. 公務員の地位 等 (2)

〔テキスト〕

行政法の基本及び応用テキスト・判例集等を中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：社会学 I	開講年次：1年	授業時数：20	単位数：1
	種類：専門科目	分類：選択必修	
	授業方法：講義		
	担当教員：神田・竹島		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
社会関係における地位と役割、階級と階層、家族、都市と農村、および社会変動等についての理解を目指す。			
〔講義・演習項目〕			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会関係における地位と役割（1）</li> <li>2. 階級と階層（5）</li> <li>3. 社会変動論（5）</li> <li>4. 家族（5）</li> <li>5. 都市と農村（2）</li> <li>6. 組織・管理論 等（2）</li> </ol>			
〔テキスト〕			
社会学の基本的テキスト、問題集および問題プリントを中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名：政治学 I

開講年次：1年 授業時数：20 単位数：1

種類：専門科目 分類：選択必修

授業方法：講義

担当教員：宮崎・神田

〔講義主要目標及び講義概要〕

政治権力、イデオロギーと政治意識、政党と圧力団体および国家概念、政治思想の歴史の変遷と現代政治学の考察および大衆社会の成立、マスメディア、世論、独裁等、政治学の基本的事項の理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

1. 政治権力の概念と実体的権力観（2）
2. 権力構造と支配の正当性（2）
3. イデオロギー（2）
4. 政治意識（2）
5. 政党と圧力団体（1）
6. 近代国家（1）
7. 国家の変容（1）
8. 古代政治学から近代政治学（1）
9. 社会契約論（1）
10. イギリスの政治思想（1）
11. 社会主義の思想（1）
12. 現代政治学（1）
13. 大衆社会の成立（1）
14. 大衆社会とマスメディア（1）
15. 大衆社会における世論（1）
16. ファシズムと独裁 等（1）

〔テキスト〕

政治学の基本的テキストを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：経営学 I	開講年次：1年 授業時数：20 単位数：1 種類：専門科目 分類：選択必修 授業方法：講義 担当教員：宮崎・竹島
[講義主要目標及び講義概要] 企業組織形態の分類と特徴、およびライン組織、ファンクショナル組織、ライン・アンド・スタッフ組織、事業部制組織、マトリックス組織等の経営組織についての理解を目指す。	
[講義・演習項目] 1. 企業組織形態の分類と特徴 (3) 2. ライン組織 (3) 3. ファンクショナル組織 (3) 4. ライン・アンド・スタッフ組織 (3) 5. 事業部制組織 (3) 6. マトリックス組織 (3) 7. プロジェクト・チーム 等 (2)	
[テキスト] 経営学の基本的テキスト、問題集および問題プリントを中心とする。	
[成績評価] 授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。	

科目名：行政学 I	開講年次：1年	授業時数：20	単位数：1
	種類：専門科目	分類：選択必修	
	授業方法：講義		
	担当教員：神田・竹島		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
行政権の役割と責任を中心として現代官僚制、行政国家、行政責任、行政委員会、審議会、さらには地方自治制度と諸問題等についての理解を目指す。			
〔講義・演習項目〕			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 近代官僚制（2）</li> <li>2. 官僚制から公務員制へ（2）</li> <li>3. 行政国家（2）</li> <li>4. 行政責任（2）</li> <li>5. 行政委員会（2）</li> <li>6. 審議会（2）</li> <li>7. 稟議制（1）</li> <li>8. 予算（1）</li> <li>9. 行政広報（1）</li> <li>10. 情報公開（1）</li> <li>11. 行政改革（1）</li> <li>12. オンブズマン（1）</li> <li>13. 地方自治制度の沿革（1）</li> <li>14. 現代地方自治制度の諸問題 等（1）</li> </ol>			
〔テキスト〕			
行政学の基本的テキストを中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名：経済学演習 I A	開講年次：1年	授業時数：80	単位数：4
	種類：専門科目	分類：選択必修	
	授業方法：演習		
	担当教員：宮崎・竹島		
<p>[講義主要目標及び講義概要]</p> <p>国民経済計算、国民所得の決定、消費の理論、IS-LM分析、財政政策と金融政策、インフレーションと失業等についての理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討する。公務員試験の出題傾向を考慮する。</p>			
<p>[講義・演習項目]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国民経済計算に関する問題 (10)</li> <li>2. セイの法則と有効需要原理に関する問題 (10)</li> <li>3. 国民所得決定に関する問題 (10)</li> <li>4. 消費の理論に関する問題 (10)</li> <li>5. IS-LM分析に関する問題 (10)</li> <li>6. 財政政策と金融政策に関する問題 (5)</li> <li>7. インフレーションと失業に関する問題 等 (5)</li> </ol>			
<p>[テキスト]</p> <p>マクロ経済学の基本的テキスト、種々の問題集および問題プリントを中心とする。</p>			
<p>[成績評価]</p> <p>授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>			



科目名：財政学 I

開講年次：1年 授業時数：20 単位数：1

種類：専門科目 分類：選択必修

授業方法：講義

担当教員：宮崎・竹島

〔講義主要目標及び講義概要〕

財政をめぐる歴史・理論および財政構造改革を中心として、財政学の基本構造についての理解を目指す。

〔講義・演習項目〕

1. 財政の役割と機能 (4)
2. 財政をめぐる理論 (4)
3. 財政の現状 (4)
4. 財政構造改革 (4)
5. わが国の財政の歴史 等 (4)

〔テキスト〕

財政学の基本的テキストを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：経営学・財政学演習 I	開講年次：2年	授業時数：20	単位数：1
	種類：専門科目	分類：選択必修	
	授業方法：演習		
	担当教員：宮崎・竹島		
<b>〔講義主要目標及び講義概要〕</b> 経営学においては経営学説全般、伝統的管理論、意思決定論、リーダーシップ論、経営組織全般等についての理解を目指す。財政学においては予算制度、一般会計予算、財政投融资、地方財政、国庫金制度等財政の仕組みについての理解を深めるため、演習と解説講義を行う。各科目とも種々の演習問題を多角的に検討する。公務員試験の出題傾向を考慮する。			
<b>〔講義・演習項目〕</b> <b>【経営学】</b> 1. 経営学説全般に関する問題（2） 2. 伝統的管理論・人間関係論に関する問題（2） 3. 意思決定論に関する問題（2） 4. リーダーシップ論に関する問題（2） 5. 経営組織全般に関する問題（1） 6. 事業部制組織に関する問題（1） 7. 経営戦略全般に関する問題 等（1）  <b>【財政学】</b> 1. 予算制度に関する問題（2） 2. 一般会計予算に関する問題（2） 3. 財政投融资に関する問題（2） 4. 地方財政に関する問題（2） 5. 国庫金制度に関する問題 等（1）			
<b>〔テキスト〕</b> 経営学、財政学ともにの基本的テキストを中心とし、問題集および問題プリントを中心とする。			
<b>〔成績評価〕</b> 授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名：憲法演習 I A	開講年次：1年	授業時数：80	単位数：4
	種類：専門科目	分類：選択必修	
	授業方法：演習		
	担当教員：神田・竹島		
<p>[講義主要目標及び講義概要]</p> <p>基本的人権および統治機構についての理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討する。公務員試験の出題傾向を考慮する。</p>			
<p>[講義・演習項目]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人権の観念に関する問題（2）</li> <li>2. 人権と主体に関する問題（2）</li> <li>3. 人権と公共の福祉に関する問題（2）</li> <li>4. 私人間における人権に関する問題（2）</li> <li>5. 新しい人権に関する問題（3）</li> <li>6. 法の下での平等に関する問題（3）</li> <li>7. 精神的自由権に関する問題（3）</li> <li>8. 職業選択・居住移転の自由に関する問題（3）</li> <li>9. 財産権の保障に関する問題（3）</li> <li>10. 人身の自由と適正手続に関する問題（3）</li> <li>11. 国務請求権と参政権に関する問題（3）</li> <li>12. 生存権・労働基本権に関する問題（3）</li> <li>13. 教育を受ける権利に関する問題（3）</li> <li>14. 国会の最高機関性、二院制、国会・議院の権能に関する問題（3）</li> <li>15. 衆議院の解散に関する問題（3）</li> <li>16. 内閣の組織と権能に関する問題（3）</li> <li>17. 議院内閣制に関する問題（3）</li> <li>18. 財政に関する問題（3）</li> <li>19. 地方自治に関する問題（2）</li> <li>20. 司法権に関する問題（3）</li> <li>21. 違憲審査制に関する問題（2）</li> <li>22. 憲法改正等に関する問題 等（3）</li> </ol>			
<p>[テキスト]</p> <p>憲法の基本的テキスト、判例集、種々の問題集および問題プリントを中心とする。</p>			
<p>[成績評価]</p> <p>授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>			

科目名：民法演習 I	開講年次：2年	授業時数：60	単位数：3
	種類：専門科目	分類：選択必修	
	授業方法：演習		
	担当教員：神田・竹島		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
民法全般について、基本事項および各条文の解釈、判例および通説的な見解の考察等についての理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討する。公務員試験の出題傾向を考慮する。			
〔講義・演習項目〕			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 総則・物権に関する問題 (10)</li> <li>2. 抵当権・譲渡担保に関する問題 (10)</li> <li>3. 債権総論に関する問題 (10)</li> <li>4. 契約法に関する問題 (10)</li> <li>5. 不法行為に関する問題 (10)</li> <li>6. 親族相続に関する問題 等 (10)</li> </ol>			
〔テキスト〕			
民法の基本的テキスト、判例集、種々の問題集および問題プリントを中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名：政治学・行政学演習Ⅰ 開講年次：2年 種類：専門科目 授業方法：演習 担当教員：宮崎・神田	授業時数：20 単位数：1 分類：選択必修
<b>〔講義主要目標及び講義概要〕</b> 政治学においては政治制度、選挙制度、政治権力、イデオロギーと政治意識、政党と圧力団体、国家概念、政治思想、大衆社会とマスメディア等の理解を一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討する。公務員試験の出題傾向を考慮する。行政学においては行政学の歴史・理論、行政権の役割と行政責任、情報公開、行政改革と地方分権等の理解を一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討する。公務員試験の出題傾向を考慮する。	
<b>〔講義・演習項目〕</b> <b>【政治学】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各国の政治制度に関する問題（1）</li> <li>2. 選挙制度に関する問題（1）</li> <li>3. 政治権力に関する問題（1）</li> <li>4. イデオロギーと政治意識に関する問題（1）</li> <li>5. 政党と圧力団体に関する問題（1）</li> <li>6. 国家概念に関する問題（1）</li> <li>7. 現代政治の諸問題に関する問題（1）</li> <li>8. 政治思想と現代政治学に関する問題 等（1）</li> </ol> <b>【行政学】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 官房学に関する問題（1）</li> <li>2. アメリカ行政学の展開に関する問題（1）</li> <li>3. 官僚制に関する問題（1）</li> <li>4. 行政国家に関する問題（1）</li> <li>5. 現代の行政に関する問題（1）</li> <li>6. 地方自治に関する問題（1）</li> <li>7. 予算に関する問題（1）</li> <li>8. 行政広報に関する問題（1）</li> <li>9. 情報公開に関する問題（1）</li> <li>10. 行政改革に関する問題（1）</li> <li>11. オンブズマンに関する問題（1）</li> <li>12. 地方自治制度の沿革に関する問題 等（1）</li> </ol>	
<b>〔テキスト〕</b> 政治学・行政学ともに基本的テキストおよび問題プリントを中心とする。	
<b>〔成績評価〕</b> 授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。	

科目名：経済学演習Ⅱ	開講年次：2年	授業時数：60	単位数：3
	種類：専門科目	分類：選択必修	
	授業方法：演習		
	担当教員：宮崎・竹島		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
完全競争市場における消費者行動および企業者行動の分析、不完全競争市場における企業者行動の分析、市場の失敗等についての理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討する。公務員試験の出題傾向を考慮する。			
〔講義・演習項目〕			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 効用関数・無差別曲線に関する問題（6）</li> <li>2. 最適消費量の決定に関する問題（6）</li> <li>3. 所得効果・代替効果に関する問題（7）</li> <li>4. 需要曲線の導出に関する問題（6）</li> <li>5. 生産関数・等量曲線に関する問題（7）</li> <li>6. 費用最小化・利潤最大化に関する問題（7）</li> <li>7. 供給曲線の導出に関する問題（7）</li> <li>8. 独占・寡占に関する問題（7）</li> <li>9. 市場の失敗に関する問題 等（7）</li> </ol>			
〔テキスト〕			
ミクロ経済学の基本的テキスト、種々の問題集および問題プリントを中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名:社会・教育・心理学	開講年次:2年	授業時数:20	単位数:1
	種類:専門科目	分類:選択必修	
	授業方法:講義		
	担当教員:宮崎・神田		
[講義主要目標及び講義概要]			
<p>社会学においては社会関係における地位と役割、階級と階層、家族、都市と農村、および社会変動等についての理解を目指す。教育学においては、教育史、教育社会学、教育法規、生涯学習、教育方法についての理解を目指し、心理学においては、学習、認知、発達、社会等についての理解を目指す。</p>			
[講義・演習項目]			
<p>社会学</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会関係における地位と役割 (1)</li> <li>2. 階級と階層 (1)</li> <li>3. 社会変動論 (1)</li> <li>4. 家族 (1)</li> <li>5. 都市と農村 (1)</li> <li>6. 組織・管理論 等 (1)</li> </ol> <p>教育学</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育史 (1)</li> <li>2. 教育社会学 (1)</li> <li>3. 教育法規 (1)</li> <li>4. 生涯学習 (1)</li> <li>5. 教育方法学 (1)</li> </ol> <p>心理学</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感覚・知覚 (1)</li> <li>2. 学習 (1)</li> <li>3. 認知 (1)</li> <li>4. 発達 (1)</li> <li>5. 社会 (1)</li> <li>6. 人格・臨床 (1)</li> <li>7. 教育 (1)</li> <li>8. 感情 (1)</li> <li>9. 心理測定法 (1)</li> </ol>			
[テキスト]			
<p>社会学・教育学・心理学に関する標準テキスト、種々の問題プリントを中心とする。</p>			
[成績評価]			
<p>授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>			

科目名：数的推理演習 B	開講年次：2年	授業時数：100	単位数：5
	種類：専門科目	分類：選択必修	
	授業方法：演習		
	担当教員：宮崎・原澤		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
<p>数による推理力・判断力や処理能力及び数学的な計算力を中心とした数的推理の領域の基礎力をより一層深いものにするために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。</p>			
〔講義・演習項目〕			
<p>数的推理に関する問題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 方程式・不等式 (5)</li> <li>2. 数 (6)</li> <li>3. 数列 (5)</li> <li>4. 魔方陣 (5)</li> <li>5. 覆面算・虫喰算 (5)</li> <li>6. 比・割合 (6)</li> <li>7. 損益算 (6)</li> <li>8. 時間・距離・速さ (6)</li> <li>9. 仕事算 (5)</li> <li>10. 場合の数 (5)</li> <li>11. 確率 (5)</li> <li>12. 測量 (5)</li> <li>13. 暦 (5)</li> <li>14. 図形の基礎 (5)</li> <li>15. 三角形 (5)</li> <li>16. 四角形・多角形 (5)</li> <li>17. 円 (6)</li> <li>18. 空間図形 (5)</li> </ol>			
〔テキスト〕			
<p>数的推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。</p>			
〔成績評価〕			
<p>授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>			



科目名：判断推理演習 B

開講年次：2年

授業時数：100

単位数：5

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

担当教員：宮崎・黒沢

〔講義主要目標及び講義概要〕

文章・記号・図形等による推理力・判断力を中心とした判断推理の領域及び平面・立体図形・軌跡等による視覚能力・想像力を中心とした空間把握の領域の基本を養うことを目指し、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

判断推理に関する問題

1. 集合 (6)
2. 論理命題 (6)
3. 暗号 (6)
4. 対応関係 (6)
5. 試合と勝敗 (6)
6. 証言推理 (6)
7. 順序関係 (6)
8. 方位・位置 (6)
9. 数量推理 (6)
10. 手順 (6)

空間把握に関する問題

1. 平面図形 (5)
2. 軌跡 (5)
3. 投影図 (5)
4. 展開図 (5)
5. 折り紙 (5)
6. サイコロ (5)
7. 立体図形 (5)
8. 位相・道順 (5)

〔テキスト〕

判断推理に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：資料分析 I B	開講年次：1 年    授業時数：40    単位数：2 種類：専門科目    分類：選択必修 授業方法：演習 担当教員：高野・島田
<p>[講義主要目標及び講義概要]</p> <p>統計資料により判断力・計算力等の資料解釈の領域の基礎力を養うことを目指し、種々の演習問題を多角的に検討する。</p>	
<p>[講義・演習項目]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実数 (10)</li> <li>2. 指数 (10)</li> <li>3. 構成比 (10)</li> <li>4. 増減率・その他 (10)</li> </ol>	
<p>[テキスト]</p> <p>資料解釈に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。</p>	
<p>[成績評価]</p> <p>授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>	

科目名：文章研究 I

開講年次：1年

授業時数：20

単位数：1

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

担当教員：中島・竹島

〔講義主要目標及び講義概要〕

現代文・古文・漢文・英文等の文章に対する読解力・内容把握力・構成力等の基礎を理解することを目指す。

〔講義・演習項目〕

1. 要旨把握 (3)
2. 内容把握 (3)
3. 下線部把握 (3)
4. 空欄補充 (3)
5. 文章整序 (3)
6. 古文の内容把握 (1)
7. 漢文の内容把握 (1)
8. 英文の内容把握 (3)

〔テキスト〕

文章研究に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：文章研究Ⅱ

開講年次：1年

授業時数：20

単位数：1

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

担当教員：中島・竹島

〔講義主要目標及び講義概要〕

文章に対する「基礎力」「読解力」「作成力」を総合的に身に着け、文章読解・作成能力検定合格を目指す。

〔講義・演習項目〕

基礎力（4）

1. 語彙
2. 文法

読解力（4）

1. 意味内容
2. 文章構成
3. 資料分析

作成力①（4）

1. 表現

作成力②（4）

1. 総合
2. 通信文

作成力③（4）

1. 総合
2. 意見文

〔テキスト〕

文章読解・作成能力検定に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：文章研究Ⅲ	開講年次：2年	授業時数：40	単位数：2
	種類：専門科目	分類：選択必修	
	授業方法：演習		
	担当教員：原澤・竹島		
〔講義主要目標及び講義概要〕 現代文・古文・漢文・英文等の文章に対する読解力・内容把握力・構成力等の総合的理解をより一層深めるために、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。			
〔講義・演習項目〕 1. 要旨把握（5） 2. 内容把握（5） 3. 下線部把握（5） 4. 空欄補充（5） 5. 文章整序（5） 6. 古文の内容把握（5） 7. 漢文の内容把握（5） 8. 英文の内容把握（5）			
〔テキスト〕 文章研究に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。			
〔成績評価〕 授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名：資料分析演習 I

開講年次：1年

授業時数：40

単位数：2

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

担当教員：島田・高野

〔講義主要目標及び講義概要〕

統計資料により判断力・計算力等の資料解釈の領域の応用力を身につけ、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

資料解釈に関する問題

1. 実数 (10)
2. 指数 (10)
3. 構成比 (10)
4. 増減率・その他 (10)

〔テキスト〕

資料解釈に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名：資料分析演習Ⅱ

開講年次：2年

授業時数：40

単位数：2

種類：専門科目

分類：選択必修

授業方法：演習

担当教員：黒沢・原澤

〔講義主要目標及び講義概要〕

統計資料により判断力・計算力等の資料解釈の領域の基礎力を養うことを目指し、種々の演習問題を多角的に検討し、国家公務員試験・地方公務員試験の出題傾向を考慮する。

〔講義・演習項目〕

資料解釈に関する問題

1. 実数 (10)
2. 指数 (10)
3. 構成比 (10)
4. 増減率・その他 (10)

〔テキスト〕

資料解釈に関する標準的テキスト、種々の問題プリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

科目名:教育・心理学	開講年次:2年	授業時数:20	単位数:1
	種類:専門科目	分類:選択必修	
	授業方法:講義		
	担当教員:宮崎・竹島		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
教育学においては、教育史、教育社会学、教育法規、生涯学習、教育方法についての理解を目指し、心理学においては、学習、認知、発達、社会等についての理解を目指す。			
〔講義・演習項目〕			
【教育学】			
1. 教育史 (2)			
2. 教育社会学 (2)			
3. 教育法規 (2)			
4. 生涯学習 (1)			
5. 教育方法学 (1)			
【心理学】			
1. 感覚・知覚 (2)			
2. 学習 (2)			
3. 認知 (2)			
4. 発達 (1)			
5. 社会 (1)			
6. 人格・臨床 (1)			
7. 教育 (1)			
8. 感情 (1)			
9. 心理測定法 (1)			
〔テキスト〕			
教育学・心理学に関する標準テキスト、種々の問題プリントを中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			



科目名：社会学	開講年次：2年	授業時数：20	単位数：1
	種類：専門科目	分類：選択必修	
	授業方法：講義		
	担当教員：神田・竹島		
〔講義主要目標及び講義概要〕			
社会関係における地位と役割、階級と階層、家族、都市と農村、および社会変動等についての理解を目指す。			
〔講義・演習項目〕			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会関係における地位と役割（3）</li> <li>2. 階級と階層（4）</li> <li>3. 社会変動論（4）</li> <li>4. 家族（3）</li> <li>5. 都市と農村（3）</li> <li>6. 組織・管理論 等（3）</li> </ol>			
〔テキスト〕			
社会学の基本的テキストを中心とする。			
〔成績評価〕			
授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。			

科目名：適性演習Ⅱ	開講年次：2年 種類：専門科目 授業方法：演習 担当教員：高野・竹島	授業時数：40 分類：選択必修	単位数：2
<p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>事務処理能力の基本である文書作成・集計・照合・転記・分類・整理といった各作業を、速くかつ正確に行うことを目標とする。計算・分類・照合・置き換え・図形把握等の形式を中心として、基礎的な問題についてスパイラル方式による演習を行う。</p>			
<p>〔講義・演習項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 計算・分類・図形把握の形式（7）</li> <li>2. 計算・照合・図形把握の形式（7）</li> <li>3. 計算・置き換え・図形把握の形式（7）</li> <li>4. 分類・照合・図形把握の形式（7）</li> <li>5. 分類・置き換え・図形把握の形式（6）</li> <li>6. 照合・置き換え・図形把握の形式等（6）</li> </ol>			
<p>〔テキスト〕</p> <p>適性に関するプリントを中心とする。</p>			
<p>〔成績評価〕</p> <p>授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>			

科目名：適性演習 I	開講年次：1年 種類：専門科目 授業方法：演習 担当教員：高野・原澤	授業時数：20 分類：選択必修	単位数：1
<p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>事務処理能力の基本である作業につき、計算・分類・照合・置き換え・図形把握等の形式を中心として、より複雑な問題についてスパイラル方式による演習を行う。</p>			
<p>〔講義・演習項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 計算・分類・図形把握の形式（3）</li> <li>2. 計算・照合・図形把握の形式（3）</li> <li>3. 計算・置き換え・図形把握の形式（3）</li> <li>4. 分類・照合・図形把握の形式（3）</li> <li>5. 分類・置き換え・図形把握の形式（4）</li> <li>6. 照合・置き換え・図形把握の形式等（4）</li> </ol>			
<p>〔テキスト〕</p> <p>適性に関するプリントを中心とする。</p>			
<p>〔成績評価〕</p> <p>授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>			

科目名：ビジネス実務

開講年次：1年 授業時数：20 単位数：1

種類：専門科目 分類：選択必修

授業方法：講義

担当教員：島田・高野

〔講義主要目標及び講義概要〕

ビジネス実務の遂行に必要な一般的な知識の習得および一般的な業務を行うのに必要な知識・技能の習得を目指す。

〔講義・演習項目〕

1. 社会人として必要とされる資質（2）
2. 企業知識および一般知識（3）
3. 社交としての文書の作成（3）
4. 営業の文書の作成（3）
5. 社内の一般文書の作成（3）
6. 文書の取扱（2）
7. 慶事・弔事に関する作法・服装・式次第等の知識（2）
8. 交際業務に関する知識 等（2）

〔テキスト〕

ビジネス文書に関する標準的テキスト、種々のプリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

<p>科目名：トレーニング演習 I</p> <p>開講年次：1年 授業時数：20 単位数：1</p> <p>種類：専門科目 分類：選択必修</p> <p>授業方法：演習</p> <p>担当教員：トレーニングトレーナー民間企業者等 (株JBE)</p>
<p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>エアロビクス・ヨガ・コンディショニング・ベンチプレス・ボディービルなどトレーニングジムを経営する株式会社JBEのパーソナルトレーナーを招き、筋力アップを目標に、正しい器具の使用法・効果的なエクササイズを学び実践する。</p>
<p>〔講義・演習項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション (2)</li> <li>2. 筋力敏捷性・瞬発力等の測定 (2)</li> <li>3. 形態測定 (2)</li> <li>4. 有酸素系マシンの使用法と実践 (3)</li> <li>5. ウェイトトレーニングマシンの使用法と実践 (3)</li> <li>6. 最大筋力の測定 (2)</li> <li>7. 各自の目標設定 (2)</li> <li>8. トレーニングの実践 (2)</li> <li>9. 口頭試問 等 (2)</li> </ol>
<p>〔テキスト〕</p> <p>トレーニング演習に関する標準的テキストおよび種々のプリントを中心とする。</p>
<p>〔成績評価〕</p> <p>授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>

科目名：トレーニング演習Ⅱ      開講年次：1年      授業時数：20      単位数：1  
種類：専門科目      分類：選択必修  
授業方法：演習  
担当教員：黒沢・中島

〔講義主要目標及び講義概要〕

トレーニング演習Ⅰを基本とし、各部位別のトレーニングマシンについて学び、また基本的なフリーウェイト種目も取り入れていく。

〔講義・演習項目〕

1. オリエンテーション (1)
2. 形態測定 (1)
3. 最大筋力の測定 (3)
4. 胸部のエクササイズ (4)
5. 背部のエクササイズ (4)
6. 脚部のエクササイズ (4)
7. 口頭試問 等 (3)

〔テキスト〕

トレーニング演習に関する標準的テキストおよび種々のプリントを中心とする。

〔成績評価〕

授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。

<p>科目名：トレーニング演習Ⅲ</p> <p>開講年次：2年</p> <p>種類：専門科目</p> <p>授業方法：演習</p> <p>担当教員：トレーニングトレーナー民間企業者等 (株JBE)</p>	<p>授業時数：20</p> <p>分類：選択必修</p> <p>単位数：1</p>
<p>〔講義主要目標及び講義概要〕</p> <p>エアロビクス・ヨガ・コンディショニング・ベンチプレス・ボディービルなどトレーニングジムを経営する株式会社JBEのパーソナルトレーナーを招き、トレーニング演習Ⅰ、Ⅱを基本とし、各部位別のトレーニングマシンについて深く学び、また実践的なフリーウェイト種目も取り入れ、公務員体力試験に則した内容を実践していく。</p>	
<p>〔講義・演習項目〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション (1)</li> <li>2. 形態測定 (1)</li> <li>3. 最大筋力の測定 (3)</li> <li>4. 胸部のエクササイズ (4)</li> <li>5. 背部のエクササイズ (4)</li> <li>6. 脚部のエクササイズ (4)</li> <li>7. 口頭試問 等 (3)</li> </ol>	
<p>〔テキスト〕</p> <p>トレーニング演習に関する標準的テキストおよび種々のプリントを中心とする。</p>	
<p>〔成績評価〕</p> <p>授業期間中に実施される種々のテスト、学期末試験、出席等を総合して判断する。</p>	